

2 看護に活用したい中国医薬学理論

— 針灸漢方薬療法を学ぶ者からの報告 —

高知女子大学

千 浦 淑 子 (1 9 回 生)

1. はじめに

最近、街のあちこちに漢方薬の看板や中国針などの看板がみられる。また人々の間では健康法や健康器具が様々に試みられている。食事療法についても、玄米食だ、自然食だと流行のようになにやら提案されたりしている。長寿時代になって高齢人口が増加するなかで健康な生活を送ることが、強く求められている現代である。人類の発生から現代に至るまでに長寿を得ること、健康を保つことが生命観や健康観として医薬学のなかに具体化され伝えられてきている。しかし日本では江戸末期から明治を経て、近代医学の波にすっかり流されたように漢方が捨てられてきてしまった。中国から伝わり日本において長い歴史のなかで、日本の風土のなかで人々の生活に根ざして伝えられてきた貴重な知恵の遺産ともいえるものを我々は、全く安易に失ってしまうとしているのではないだろうか。

現代医薬学の持つ人工的な毒素のなかに浸されきってしまったぬうちに本来の人体や自然の生命力や治癒力を見直さなければならないときがきている。

中国医薬学は漢方と称し、針や灸による治療と湯液と称し生薬を用いる二つの大きな流れがあるが、その基本には人間を宇宙の自然な存在とみなし、生命を風土の中で生き生きと適応させるという生態学的、予防医学的な考え方を当初から持っている。人体の生理や機能を西洋医学の解剖的・分析的な疾病原因把握とは異なる、総合的に宏視的動態観察で治療実践を行うのが中医学である。

2. 歴史にみる中国医薬学

大きな点しかここでは述べることはできないので年表を参照にしてほしい。人類が生活に火を用いはじめた紀元前 10,000～4,000 年の新石器時代のころ、局所の疼痛を除くために暖めることが効果的なことが発見された。次には細く鋭い石器で皮膚をつき破り排膿すると、ある種の疾病は治せることもわかってきた。これが中国の医学文献に最初に紹介されている。石器は青銅器へと応用され、さらに金属が次々に使用され針療法として発展してきた。“黄帝内経”は紀元前に集大成された書物であるが、現代中国にあっても伝統医学の古典として数千年を経てなお引用され、実践され応用研究され続けている。漢方薬は湯液療法として、大陸気候の厳しさの中

で、氾濫、旱魃による飢えと戦い動植物のあらゆる種類を口にしながら、その経験を生命を延ばし、健康を保つ知恵として伝えてきたものである。数千年にわたる中国の民の貴重な人体実験の塗方もない集積である。日本では明治以後、漢方の後継者を育てることができず、近代化に押し流されていたとき、中国では民衆の生活医療として発展しつづけてきたし、その文化遺産を誇りにしている。戦争中では衛生材料や各種の機器、消毒などが不足するが、簡便で有効な針灸治療の果たした役割は大きかった。新中国においてこの中国伝統医薬学を更に研究・発展させようという動きはこうした歴史のなかでの人々の求めるところに合致しているためである。さらに中西医合作が盛となっている。

日本には400年ごろ朝鮮を経由して伝わった。562年に呉の知聡が薬方書や針灸用人体図を持って帰化した。遣隋使、遣唐使と交流が盛になり754年に鑑真により医術、医育が大きく伝えられた。984年に丹波康頼が「医心方」を著しているが、中国で各種の書物が散逸している随・唐時代の文献を証明する書となっている。このように日本に伝えられた中国医薬学は独自の発展が期待されていたが、一般民衆の健康観や疾病治療に深刻な存在となることはできず、江戸末期明治維新となった。特にドイツ医学が流入し、医師免許や資格・制度の問題から漢方医はほとんど途絶えてしまうことになった。

現在日本では薬局は販売商品として漢方薬を扱い、病院の医師は西洋薬の代用として漢方を処方したり、針灸師は針灸の施術は行っているが、健康意識としての養生も含めて針灸・漢方薬を総合的に運用しなければ、漢方が正しく定着して日本方ともなり病者の福祉となることもできない。

看護では直接患者に触れ、二十四時間を見守る臨床があるが、四診（望診、聞診、問診、切診）の知識は検査値のみをながめるよりも、どれだけ実際のかと思われる。発汗を促したり排泄を促すための看護処置のなかに、中医学理論によるとなるほどと思われることも多い。今後日本でも医薬看護の世界に東洋医学的な研究が行なわれる分野が広がると思う。

3. 新中国のなかでの伝統医薬学の位置と世界事情

A 中華人民共和国

1949年に中国が成立した後、1956年に北京・上海・成都・広州の4カ所に初めて中医学院が創設された。私は本年（1982）3月に広州中医学院で研修することができた。現在までに中国で22ヶ所に中医学院が設立されている。6年制であったが、文革中に3年とされ、1977年後は5年となった。全国で1981年までに36,000余名の中医が養成され各省、各県の中医院、人民医院へと配属されている。西医に対して2年制の中医学習班を定めている中医学院もある。外国留学生も受け入れている。広州中医学院では日本・フランス・韓

国の学生が学んでいた。広州中医学院には400床の附属医院があり、また広東省中医院350床も附属病院とされている。このように中国では中医薬学を祖国の貴重な遺産としてさらに発展・研究していこうという意気が高い。

B 世界各地の中医事情

USAでは1972年のニクソン訪中以後、急速に評価が高まり1973年以後ハワイ、カリフォルニア、ニューヨーク、フロリダなど10州以上で公式ライセンスが認められDr. of Chinese medicineといわれる。

英国では香港を持っていたことより、中国医薬文物は英訳され多く国内に入っている。英国は霧や湿気・寒気の強さからリウマチ患者が多く、針灸医が国民的要求もあって専門教育で養成されている。

フランスでは欧州で最初に中医学書が翻訳され、中国から学んだものとフランスで独自に研究発展させたものを持っている。開業のための政府登録の制度がある。

カナダは第二次大戦後、世界で初めて中国との国交を樹立した国であり、中医師への需要が高く、医療政策では合法的ではないが、公然と開業し臨床実践を行っている。

ドイツはフランスに次ぐ針灸の伝統をもつ。温泉保養地バーデンバーデンは理学物理療法として有名である。

香港は550万人の90%は中国人である。針灸漢方は非常に盛んである。英国の医師制度で西医の養成が行われているが、中医の方が人々から信頼されていると聞いた。また各種の生薬は中国本土、台湾、アジア各地から集まりセンターともなっている。

マカオでは10数年前に中国人たちが中医を認めるよう要求して暴動が起ったこともあり人々の中医に対する人気が高いといえる。

台湾では1958年に台中中国医薬学院が8年制医学部として創立された。国家試験制度がある。人々は薬食同源を実践し、日本で八百屋で野菜を買うように青草店で生薬を見つけて買うことができる。

他のアジア各国でも華僑が入っている国では中医学治療が普及している。広州中医学院で乳幼児から老人まで中医学治療を受けている臨床現場をスライド(90枚)で示す。

4. 陰陽、五行、経絡の概念

A 陰 陽

事物の二つの属性を説明するものである。陰陽は相対立し、かつ統一している。両者は互いに連なりあって、互いに作用しあい、依存しあっている。古人が自然界に存在している事物現象を陰陽の二つにまとめた例は次の表のようになる。(表1 自然界の事物の陰陽)

表 1 自然界の事物の陰陽

陽	天	上	左	雄	動	昼	明	熱	昇	日	火	速	強
陰	地	下	右	雌	静	夜	暗	寒	降	月	水	遅	弱

また人体の組織構造と生理エネルギーを説明するためにも用いられる。(表2 人体の陰陽)

陰陽は相対的な存在関係にある。すなわち陰がなければ陽もない。陽がなければ陰もない。熱がなければ寒もなく、上がなければ下もないのと同じである。陰陽の両方面は複雑で陽の中に陰があり、陰の中にまた陽がある。(図1 陰陽互根図)

表 2 人体の陰陽

陽	表	背	皮膚	熱	実	六腑 ^(注)	興奮	機能
陰	裏	腹	筋骨	寒	虚	五臓	抑制	物質

(注) 六腑 = 胆、小腸、胃、大腸、膀胱、三焦(ホルモン系だが西医の解剖名と同一でない)

五臓 = 肝、心、肺、脾、腎(心包を加えて六臓ともいう)

図 1 陰陽互根図



B 五行 (図2 五行)

五行は古人が日常生活中、最も熟知している五つの物質、木・火・土・金・水を代表として植物・熱・土壌・鉱物・液体などで構成されていると考える説である。これらの物質の相互資生・制約の関係によって人体の生理機能と病理変化を説明解釈するもので、特に人体の内臓の機能活動および人体と自然の関係を説明しようとするものである。人体を宇宙の一部とみなした古代人の素朴な宇宙観・自然観から発展してきている。“木は火を生じ、火は土を生じ、土は金を生じ、金は水を生じ、水は木を生ず”が五行相生であり、五行相剋は“木

は土を尅し、土は水を尅し、水は火を尅し、火は金を尅し、金は木を尅す」と相互抑制の関係をあらわした。

人体の病変の相互関係を説明するためにこれを応用し、母を補い、子を泻す方法を医薬で運用することになる。（五行 表3）

図 2 五 行

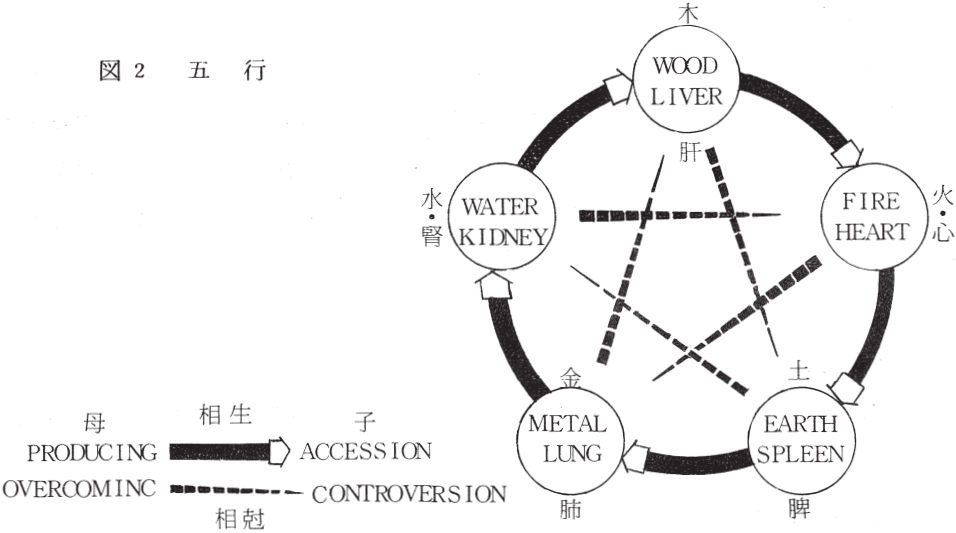


表 3 五 行

	五季	五方	五気	五化	五色	五味	五官	形体	情志
木	春	東	風	生	青	酸	目	筋	怒
火	夏	南	暑	長	赤	苦	舌	脈	喜
土	長夏 (夏至のころ)	中央	湿	化	黄	甘	口	肉	思
金	秋	西	燥	収	白	辛	鼻	皮毛	悲
水	冬	北	寒	藏	黒	咸	耳	骨	恐

C 経 絡

人体経絡系統の生理機能、病理変化および経絡と臓腑との相互関係を研究する学説である。人体の気血を運行する通路（Channel）である。経脈は多く人体の深部を循環する縦の幹線である。絡脈は網絡の意味で経脈の分枝であり全身に縦横交錯して循環している。

経絡学説は「黄帝内経」によれば二千年前より形成されている、十二経脈・奇経八脈・十

五経脈・十二経別・十二経筋・十二皮部・および多数の孫絡・浮絡がある。特に十二経脈と奇経八脈は重要である。

現代医学の「^(注)内臓体表反射説」によってこの経絡学説の一部は説明され証明される。

5. 針 の 作 用

①血液循環が速まり、血流量を増加させ、皮膚局部の温度を上昇させる。②換気量と酸素消費量が増加する。針刺には肺機能増強作用がある。ある穴に針刺すると、③胃・小腸の活動を調節する作用がある。胃の運動が抑制された状態に対しては、胃の運動を強化させ収縮の幅が増大し周期がはやくなり、胃液の酸度と酵素活性が高まる。一方胃の運動が強いときには逆の作用を示す。

(注)

一 内臓体表反射説 一

内臓に異状があると、その異状の神経的につながりのある皮膚や筋肉に反射して、そこにいろいろな変化を起こす。

① 内臓知覚反射

内臓に異状があると求心性のインパルスが脊髄に伝わり、その脊髄から同じ高さにある皮膚に伝わり痛み・シビレ感をおこす。

② 内臓運動反射

肩こり、背中のこりなどにあらわれ、内臓の異状が神経的なつながりのある体表面にあらわれる。

③ 内臓自律系反射

内臓の状態が皮膚にある汗腺、皮脂腺、立毛腺、皮膚を流れている血管などに現われる反射症状である。

このような反射は内臓→体表の方向と体表→内臓という逆方向の反射があり、体の表面の刺激により内臓の蠕動を助けたり、ホルモン分泌を促進したりすることができる。

④筋組織のグリコーゲン利用が増大し、脳組織内のいくつかの酵素(コハク酸脱水素酵素など)の活性も増大する。針刺は組織の代謝過程と活動能力を促進し、生体の不利な要素に対する抵抗力を強化して、損傷された組織の修復を促す。⑤血液像が変化する。針刺後には、白血球とくに中好球が著しく増加する。同時に血清中の各種の特異性・非特異性免疫体の有効値が大幅に高まる。脳下垂体 — 副腎皮質系と交感神経 — 副腎髄質系は各種の刺激(ストレス)でおこる適応反応と密接な関係があるが、針刺はこの二つの系統の活動を促進することができる。この活動が生体の抵抗力を強化するため、針麻酔において術後感染が少なく、創の癒合が

早いことが観察されるといわれる。

針麻酔に対して精神的要素も重要である。痛覚が単純な感覚でなく、精神的、心理的要素の影響を多く受けているが、針を用いる前の術者と病者との関係も大切にされている。

6. おわりに

この場での中医報告は私の力不足で十分意を尽せていないが、最後に中医学で医師の目指すべき目標として「治未病」という言葉があるので触れておきたい。病は発生する以前にその人の衣食住労働心理の背景から未然に察知し予防するということである。中医学で上工といわれる尊敬される医師は治未病のできる人のことであるという。看護のなかで健康を大きくとらえるならば当然の言葉であるが、日本の有史以前にすでにこうした言葉や考え方の多くが書物に残されている中国医薬学の悠久の歴史から今後も学んでいきたいと思っている。

〔参考文献〕

- 鎌田 正 訓訳監修 医心方 至文堂 昭57
- 伊沢凡人 漢法に科学性を求めて 総合看護 1978年3月
- FuWei-Kang The story of Chinese Acupuncture and Moxibustion
外文出版社 北京
- 胡 海天 飲食療法 広東科技出版
- 久保道徳 薬用に使われた鯉のウロコ 壮快 1982. 6
- 平 兆愈 従臨床実践看中西医結合的重要性 新中医 1982. 2 広州中医学院出版
- 陳 慕華 中医学院成立25周年論集
- 上海中医学院 針灸学 商務印書館 1975
- 武藤達吉編訳 新中国針灸学基礎学習ノート 香港中医学研究院 日本分院出版部 1980
- 広州中医学院 中医学基礎 鍼麻酔のあらましとその臨床応用 1981. 3
- 青木馨生 即効漢方 徳間書店 1982
- 簗内宗一 ツボによる健康法 文理書院 1980
- 主婦の友編 漢方と民間療法 主婦の友社 1982
- 三 木 栄 朝鮮医書誌